

平成30年度新大崎市民病院改革プランの実績評価

1 点検・評価

新大崎市民病院改革プランでは、年度ごとに評価・点検を実施し、令和2年度の目標達成に向けて改善を実施することとし、その評価・点検については、有識者や市民代表で構成された大崎市病院事業外部評価検討会議にて、客観的に行うものです。

2 数値目標の達成状況

(1) 医療機能 指標5項目

区分	項目数
達成	5項目 (100.0%)
未達成	0項目 (0.0%)

(2) 経営効率化 主な取り組み内容

ア 収入増加・確保対策 指標8項目

区分	項目数
達成	7項目 (87.5%)
未達成	1項目 (12.5%)
【未達成項目】 500床フル稼働	

イ 経費の節減・抑制 指標4項目

区分	項目数
達成	4項目 (100.0%)
未達成	0項目 (0.0%)

ウ 民間的経営手法の導入 指標1項目

区分	項目数
達成	1項目 (100.0%)
未達成	0項目 (0.0%)

エ サービスの向上 指標8項目

区分	項目数
達成	8項目 (100.0%)
未達成	0項目 (0.0%)

オ 業務の改善, 職員の意識改革 指標7項目

区分	項目数
達成	6項目 (85.7%)
未達成	1項目 (14.3%)
【未達成項目】 東北大学大学院医学系研究科「宮城県北先制医療学講座」による医師の育成	

(3) 経営の効率化 数値目標

ア 病院事業全体 指標 8 項目

区分	項目数
達成	4 項目 (5 0 . 0 %)
未達成	4 項目 (5 0 . 0 %)
【未達成項目】 病床稼働率, 一日平均患者数 (入院, 外来), 平均診療単価 (外来)	

イ 本院 指標 8 項目

区分	項目数
達成	6 項目 (7 5 . 0 %)
未達成	2 項目 (2 5 . 0 %)
【未達成項目】 病床稼働率, 一日平均患者数 (入院)	

ウ 鳴子温泉分院 指標 8 項目

区分	項目数
達成	1 項目 (1 2 . 5 %)
未達成	7 項目 (8 7 . 5 %)
【未達成項目】 病床稼働率, 一日平均患者数 (入院, 外来), 平均診療単価 (入院, 外来), 医業収支比率, 給与費対医業収益比率	

エ 岩出山分院 指標 8 項目

区分	項目数
達成	7 項目 (8 7 . 5 %)
未達成	1 項目 (1 2 . 5 %)
【未達成項目】 平均診療単価 (外来)	

オ 鹿島台分院 指標 8 項目

区分	項目数
達成	5 項目 (6 2 . 5 %)
未達成	3 項目 (3 7 . 5 %)
【未達成項目】 病床稼働率, 一日平均患者数 (入院, 外来)	

カ 田尻診療所 指標 5 項目

区分	項目数
達成	0 項目 (0 . 0 %)
未達成	5 項目 (1 0 0 . 0 %)
【未達成項目】 一日平均患者数 (外来), 平均診療単価 (外来), 経常収支比率, 医業収支比率, 給与費対医業収益比率	

キ 健康管理センター 指標 5 項目

区分	項目数
達成	5 項目 (1 0 0 . 0 %)
未達成	0 項目 (0 . 0 %)

1 医療機能など指標に係る数値目標（新大崎市民病院改革プラン P19）

ア 達成状況（指標 5 項目中達成 5 項目 達成率 100.0%）

項目	目標	実績	達成状況		取組内容
	A	B	項目	達成率	
				B/A×100	
①紹介率	65%以上	76.5%	達成	117.7%	平成 30 年 10 月から小児科紹介制を導入した。また導入に伴い、こどもサポート医を創設し、地域の医療機関との連携を図った。 地域医療連携室の担当医師による医療機関の訪問を実施した。 登録医アンケートを実施した。
②逆紹介率	50%以上	87.7%	達成	175.4%	地域の医療機関と連携推進を図るため、逆紹介の運用徹底の院内周知を行った。
③在宅復帰率	75%以上	85.9%	達成	114.5%	平成 30 年 8 月より入院前から、各種関係機関間での連携推進や情報共有を行った。 また、病院ビジョンの目標でもある脳神経疾患等のリハビリを実施する医療機関との連携を図り、連携数の増加を図った。
④手術実施症例 1 件あたりの外保連手術指数	12.99以上	14.63	達成	112.2%	心臓疾患の緊急手術や日帰り手術の実施を行うため、医師や看護師確保・育成を継続して行った。
⑤特定内科診療対象件数	115 症例以上	313 症例	達成	272.2%	重症度の高い内科系疾患（特定内科診療）の受入を行うため、医師や看護師確保・育成を継続して行った。

イ 結果（評価）

目標達成に向け、平成 30 年 6 月に新改革プランの行動計画となる大崎市民病院事業病院ビジョンを策定し、取り組んでいます。紹介率及び逆紹介率は、院内の協力体制を得て、地域医療機関向けに運用を積極的に周知しています。また、診療報酬制度の改正による小児科における初診時の選定療養費の導入に伴い、こどもサポート医を創設し、医師会向けに小児医療の研修会の開催

や地域への広報を行いました。院内外への周知が図れてきていることから、紹介率は前年度より、増加しています。また、逆紹介率においても、各診療科において、症状の安定した再来患者を地域の医療機関へ逆紹介できていることから、目標を達成しています。しかし、初診患者数が減少していることから、今後は、さらに、症状の安定した患者を地域の医療機関へ紹介し、各診療科においてもサポート医体制の構築を行うとともに、初診紹介の受けやすい体制を整備する必要があります。

在宅復帰率は、入退院管理において、入院前から地域の関係機関との情報共有を行える体制を整備したことにより、院内では、入院早期に、退院支援を実施できるようになりました。また、早期に情報共有を行うことで地域の医療機関や介護施設との連携が強化され、目標を達成しています。今後も病院ビジョンにも掲げている、入院前から薬剤師や管理栄養士等の多職種による入退院支援を実施し、在宅復帰の更なる向上に努めます。

DPC 特定病院群の要件でもある手術実施症例 1 件あたりの外保連手術指数は、心臓血管外科の緊急手術の体制が整ったことも影響し、目標を達成しています。また、特定内科診療についても、病院ビジョンに掲げている脳疾患やがん疾患の受入れを積極的に実施し、目標を達成しています。今後も高次医療の提供や、医師をはじめ医療従事者の教育施設として、人材の育成を更に推し進めていきます。

今般の取り組みについては、令和元年度以降も目標を達成するべく、本院マネジメント会議等で情報共有を図りながら、継続的に実施していきます。

2 経営効率化 主な取り組み内容

(1) 収入増加・確保対策（新大崎市民病院改革プラン P20）

ア 達成状況（指標 8 項目中達成 7 項目 達成率 87.5%）

項目	区分	目標	実績	達成状況		取組内容
		A	B	項目	達成率	
					$B/A \times 100$	
① 7:1 看護体制の確保	本院	継続	継続	達成	100.0%	病床の稼働状況等に合わせ、人員配置の見直しを行い、看護体制の確保に努めた。また、ガイダンスや学校訪問、奨学金の貸付などにより、看護師の確保に努めた。
② 500 床フル稼働	本院	実施	未実施	未達成	0.0%	継続的に看護師確保に努め、看護師数は増加しているものの、産前産後・育児休暇等により平成 30 年度の 500 床フル稼働は実施できなかった。継続的な看護師確保を実施し、採用人数は増加した。令和元年 6 月より GCU を開設し、500 床フル稼働しています。
③ DPC II 群の指定継続	本院	継続	継続	達成	100.0%	4 つの指定要件のうち、外保連手術指数の目標達成により、DPC 特定病院群（旧 II 群）の継続となった。 ※平成 28 年度の診療報酬改定により名称変更
④ 総合入院体制加算 2 の取得	本院	実施	実施	達成	100.0%	常勤の精神科医師が不在となったが、東北大学病院より派遣いただいている医師と院内紹介体制を整備し、本加算 15 要件の中でも、精神疾患症状を有する、特に救急入院患者への精神科医の介入を行った。
⑤ 退院支援加算 1 の取得	本院	実施	実施	達成	100.0%	平成 30 年度の診療報酬改定により入院からの支援に対し、評価の対象となった。平成 30 年 8 月より入院前から支援を実施できる体制を整備した。
⑥ 総合入院体制加算 1 の取得	本院	検討	検討	達成	100.0%	施設基準である精神病床の設置が課題である。県の精神病床は過剰となっており、加算の取得は難しい。
⑦ 認知症ケア加算 2 の取得	鳴子	実施	実施	達成	100.0%	認知症についての院内勉強会や認知症についての研修受講を実施した。また、職員連携を密にすることにより、入院中の認知症患者を支援し適切なケアを行った。

	岩出山	実施	実施	達成	100.0%	認知症についての院内勉強会や認知症についての研修受講を実施した。また、職員連携を密にすることにより、入院中の認知症患者を支援し適切なケアを行った。
	鹿島台	実施	実施	達成	100.0%	認知症についての院内勉強会や認知症についての研修受講を実施した。また、職員連携を密にすることにより、入院中の認知症患者を支援し適切なケアを行った。
⑧ 後発医薬品体制加算の取得	鳴子	実施	実施	達成	100.0%	毎月、後発品の使用状況を把握及び関係部門で協議し使用率の向上に努めた。その結果、使用率が前年度の 84.6% から 86.8% となった。
	岩出山	実施	実施	達成	100.0%	後発品使用状況の把握を行い、院内で積極的に後発医薬品使用の促進を行った。その結果、使用率が前年度の 86.6% から 90.3% となった。
	鹿島台	実施	実施	達成	100.0%	後発品使用状況の把握を行い、委員会で後発医薬品へ切替えの候補薬の検討を行い、同種同効薬品への薬品切替えを実施した。

イ 結果（評価）

DPC 特定病院群の指定継続や加算の取得は、平成30年度の診療報酬改定における要件の厳格化に対し、早期から準備・取組みを行った結果、目標を達成することができました。特に7対1看護体制の確保については、施設基準の要件を満たしていますが、産前産後・育児休暇等により体制の維持に苦慮しています。しかし、継続的な就職ガイダンスや学校訪問、インターンシップ、病院見学の受入れなどを継続的に実施していることにより、当院の認知度も上がってきており、令和元年6月より500床フル稼働しています。引き続き、早い段階で優秀な人材の確保できるに努めます。また、認知症ケア加算1については、平成30年11月にさらに高まる認知症ケアニーズへの備えとして、医師・看護師・社会福祉士等の多職種からなる認知症ケアチームを設置し、平成31年3月より算定を開始し、当初の予定より1年早く、算定を開始しました。

また、分院においては、認知症を合併する患者への取組みや後発医薬品使用増加に取り組んだ結果、前年度に引き続き加算を継続することができました。

令和元年度以降も引き続き、これら加算の算定継続に向けて取組み、収

益確保に努めます。

(2) 経費の節減・抑制

ア 達成状況（指標4項目中達成4項目 達成率100.0%）

項目	区分	目標	実績	達成状況		取組内容
		A	B	項目	達成率	
					B/A×100	
①他病院との比較材料費契約単価の見直し	事業	継続	継続	達成	100.0%	ベンチマークを活用し、単価の見直し及び安価製品への切替えを行い、材料費の削減に努めた。
②単価契約と大量一括購入の併用	事業	継続	継続	達成	100.0%	使用数量が見込める材料は、一括購入することにより、材料の削減に努めた。
③人員の適正配置	事業	実施	実施	達成	100.0%	病床の稼働状況や施設基準等に合わせて、人員配置の見直しを行った。
④後発医薬品使用率の向上	本院	80%以上	87.0%	達成	112.9%	毎月、後発品の使用状況をマネジメント会議で報告し、薬剤部及び薬事委員会を中心に、使用率の高い薬品から順次切替えを行った。
	鳴子		86.8%	達成	108.5%	毎月、後発品の使用状況を把握及び関係部門で協議し使用率の向上に努めた。その結果、使用率が前年度の84.6%から86.8%となった。
	岩出山		90.3%	達成	112.9%	後発品使用状況の把握を行い、院内で積極的に後発医薬品使用の促進を行った。その結果、使用率が前年度の86.6%から90.3%となった。
	鹿島台		87.4%	達成	109.3%	後発品使用状況の把握を行い、委員会で後発医薬品へ切替えの候補薬の検討を行い、同種同効薬品への薬品切替えを実施した。
	田尻		92.9%	達成	116.1%	院内で積極的に後発医薬品使用の促進を行った。その結果、使用率が前年度の76.4%から92.9%となった。

イ 結果（評価）

高度な治療の増加に伴い、高額医薬品や診療材料の使用量も増え、結果、材料費は増加傾向にあります。ベンチマークによる他病院との比較・分析結果を活用しながら、単価の見直しや安価製品への切替え等を行い、継続し

た材料費の節減に努めています。

人員の適正配置については、前述のとおり看護師を中心に、ライフイベントに伴う減員に対応するため、病床稼働の状況や施設基準等に応じて、部署間での配置見直しを有効的に行っています。

後発医薬品の使用率向上に向けては、薬剤部を中心に、ビジョンの目標に掲げ、使用量の多い薬品から切替えを行っています。全ての施設で目標の80%を超えており、引き続き、経費の節減、抑制に取り組めます。

(3) 民間的経営手法の導入

ア 達成状況（指標1項目中達成1項目 達成率100.0%）

項目	区分	目標	実績	達成状況		取組内容
		A	B	項目	達成率	
					$B/A \times 100$	
①SPD（物品・物流管理システム）の導入	事業	継続	継続	達成	100.0%	在庫の適正管理を実施し、診療材料費の削減に努めた。SPDの導入を行い、継続して薬剤費の削減に努めた。

イ 結果（評価）

SPD（物品・物流管理システム）を導入し、物流管理業務の簡素化、効率化や在庫の適正管理に努めています。また、全国の医療機関とのベンチマーク等を活用しながら、診療材料費の削減に努めています。診療報酬改定における薬価改定に伴う暫定価格の値引きは、SPD事業者のベンチマークを活用し、全国平均12.2%に対し、当院は12.7%と全国平均を上回りました。引き続き、SPD事業者のベンチマークを活用した、値引き交渉及び安価製品への切替え検討を行い、業務の効率化を図りながら、経費の節減、抑制に取り組めます。

(4) サービスの向上

ア 達成状況（指標8項目中達成8項目 達成率100.0%）

項目	区分	目標	実績	達成状況		取組内容
		A	B	項目	達成率	
					$B/A \times 100$	
① 病院広報誌の発行	事業	継続	継続	達成	100.0%	年4回（5月・8月・11月・2月）発行した。
② 市民向け病院事業広報誌の発行	事業	継続	継続	達成	100.0%	年4回（6月・9月・12月・4月）発行した。
③ ラジオによる広報	事業	継続	継続	達成	100.0%	毎週月曜日（7:35～7:40）放送した。
④ ウェブサイトを活用した情報発信の充実（流行性疾病の注意情報等）	本院	実施	実施	達成	100.0%	9月より週1回大崎市民病院ホームページに当院の感染症発生件数を掲載し、宮城県結核・感染症情報センターホームページとのリンクを追加した。
⑤ 臓器別・疾患別センターの充実	本院	継続	継続	達成	100.0%	脳神経センターと循環器センターでは、病院ビジョンに掲げている急性期疾患の受入れ体制の強化を図り、目標を達成している。 また、組織検討を行い、平成31年4月より消化器センターを設置した。
⑥ リンパ浮腫外来の設置	本院	継続	継続	達成	100.0%	平成27年5月に外来を設置し、質の向上を図るため、平成29年度はチームを設置した。また、リンパ浮腫外来の診療枠増加の希望が多いことから、平成30年10月より1日あたりの枠（5枠→6枠）を増やし、サービス向上に努めている。
⑦ 小児病棟への保育士の配置	本院	継続	継続	達成	100.0%	小児科の病棟へ常勤職員1名を配置し、入院中の療養支援を担当している。子供の発達段階や病状に合わせた支援をしている。
⑧ 退院支援部門の強化	本院	継続	継続	達成	100.0%	退院支援に関する体制の整備、地域医療機関等との円滑な連携を図った。

イ 結果（評価）

脳神経センターや循環器センターでは、脳卒中疾患や急性心筋梗塞等の急性期疾患の受入れ体制を整備し、病院ビジョンの目標を達成し、臓器別・疾患別センターの充実を図りました。また、小児病棟への保育士の配置など、

診療や診療行為に関連したサービスの向上に努めました。また、利用される患者さんや市民向けに広報を発行し、病院の機能、医療情報をよりわかりやすく発信しました。

平成29年度未達成となった「ウェブサイトを活用した情報発信の充実（流行性疾病の注意情報等）」については、9月より週1回情報を発信しています。今年度も引き続き、早期から情報発信できるように担当部署との連携を図り、実施に向けて取り組みます。

(5) 業務の改善，職員の意識改革

ア 達成状況（指標7項目中達成6項目 達成率85.7%）

項目	区分	目標	実績	達成状況		取組内容
		A	B	項目	達成率	
					$B/A \times 100$	
① 看護師確保対策ワーキングによる活動	事業	継続	継続	達成	100.0%	毎月ワーキングを開催し、平成30年度は、14校の学校訪問やガイダンスに13回参加した。継続的な取組みの結果、採用人数は増加している。
② 6S活動	本院	継続	継続	達成	100.0%	部署ごとに取り組んだ内容の報告や6S委員会による院内ラウンドを毎月実施し、通信を発行する等6Sの推進を行った。
③ 東北大学大学院医学系研究科「宮城県北先制医療学講座」による医師の育成	本院	継続	未継続	未達成	0.0%	初期研修医に対し、進路に係る調査や専門医や大学院を対象とした説明会を実施したが、平成30年度も志望者がいなかった。進路調査を実施し、研修医や専攻医の進路相談も希望により随時対応した。
④ 病院機能評価の認定病院	本院	継続	継続	達成	100.0%	平成30年度は期中の確認を行った。質改善活動の中核となるクオリティマネジャーの養成を行った。
⑤ 人事評価制度の導入	事業	継続	継続	達成	100.0%	医師を除く職員を対象に継続して実施している。
⑥ 患者満足度調査の実施	本院	継続	継続	達成	100.0%	平成30年11月27日から12月24日の期間で患者満足度調査し、その結果を市民向け広報誌や院内掲示版（グループウェア）にて職員へ周知した。

⑦ 職員満足度調査の実施	事業	継続	継続	達成	100.0%	平成30年9月19日から10月3日の期間で職員満足度調査し、その他結果を院内掲示板（グループウェア）にて職員へ周知した。
--------------	----	----	----	----	--------	--

イ 結果（評価）

業務改善においては、平成29年3月に取得した病院機能評価の継続した取組みとして、医療の質管理委員会を立ち上げ、質の向上及び改善に取り組んでいます。また、質改善を継続的実施していくため、質改善の中核となる医療クオリティマネジャーの養成を行いました。また、令和元年度は、病院機能評価機構サーベイヤーによる病院機能評価認定期間における期中の確認を行います。

未達成となった東北大学大学院医学系研究科「宮城県北先制医療学講座」による医師の育成においては、平成30年度は初期研修医への説明会の充実を図りましたが、平成29年度に引き続きは志望者がいなかったため、目標の達成はできませんでした。説明会により興味を示す研修医もいましたが、平成30年度より開始された専門医制度により、専門医の取得を優先する傾向のため、検討が必要です。

3 経営の効率化 数値目標（新大崎市民病院改革プラン P21）

（1） 病院事業全体

ア 達成状況（指標 8 項目中達成 4 項目 達成率 50.0%）

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	79.3%	76.3%	△ 3.0%	未達成	96.2%
②一日平均患者数（入院）	562.6人	541.0人	△ 21.6人	未達成	96.2%
③平均診療単価（入院）	58,383円	61,946円	3,563円	達成	106.1%
④一日平均患者数（外来）	1,462.2人	1,427.7人	△ 34.5人	未達成	97.6%
⑤平均診療単価（外来）	18,834円	18,829円	△ 5円	未達成	99.9%
⑥経常収支比率	99.0%	100.9%	1.9%	達成	101.9%
⑦医業収支比率	91.5%	92.6%	1.1%	達成	101.2%
⑧給与費対医業収益比率	54.9%以下	52.5%	△ 2.4%	達成	104.6%

*新大崎市民病院改革プランでの数値目標は本院 500 床目標値のため、実績値も 500 床換算

（2） 本院

ア 達成状況（指標 8 項目中達成 6 項目 達成率 75.0%）

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	83.0%	82.4%	△ 0.6%	未達成	99.3%
②一日平均患者数（入院）	414.9人	411.9人	△ 3.0人	未達成	99.3%
③平均診療単価（入院）	71,487円	74,528円	3,041円	達成	104.3%
④一日平均患者数（外来）	1,040.2人	1,046.6人	6.4人	達成	100.6%
⑤平均診療単価（外来）	23,198円	23,472円	274円	達成	101.2%
⑥経常収支比率	100.2%	101.3%	1.1%	達成	101.1%
⑦医業収支比率	96.5%	97.7%	1.2%	達成	101.2%
⑧給与費対医業収益比率	48.9%以下	46.8%	△ 2.1%	達成	104.5%

*新大崎市民病院改革プランでの数値目標は本院 500 床目標値のため、実績値も 500 床換算

イ 結果（評価）

入院における一日平均患者数は、新入院患者数が増加するものの、在院日数の短縮等により目標値を下回りました。しかし、平成 30 年度診療報酬改定に対して、確実な対応を行ったことにより、数値目標における施設基準の継続した取得や心臓血管外科の手術件数の増加、高額医薬品や診療材料等の使用量増加に伴い診療単価が向上したため、収益は増加しました。また、収益同様、高額医薬品の使用量増加により、費用も増加していますが、経常収支及び医業収支ともに、目標値を大きく上回る結果となりました。目標を達成しなかった入院患者数等については、本院マネジメント会議等で情報共有を図り、令和元年度では目標を達成できるように努めます。

(3) 鳴子温泉分院

ア 達成状況（指標8項目中達成1項目 達成率12.5%）

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	69.0%	48.7%	△20.3%	未達成	70.6%
②一日平均患者数（入院）	72.5人	51.2人	△21.3人	未達成	70.6%
③平均診療単価（入院）	21,422円	20,079円	△1,343円	未達成	93.7%
④一日平均患者数（外来）	68.6人	63.7人	△4.9人	未達成	92.9%
⑤平均診療単価（外来）	6,932円	6,819円	△113円	未達成	98.4%
⑥経常収支比率	93.1%	105.6%	12.5%	達成	113.4%
⑦医業収支比率	63.0%	50.4%	△12.6%	未達成	80.0%
⑧給与費対医業収益比率	110.6%以下	131.3%	20.7%	未達成	84.2%

イ 結果（評価）

入院患者数は、人口減少に伴い、年々減少する傾向にあります。平成30年10月には、病床数を130床から80床に再編を行いました。しかし、長期療養者の退院支援が進む一方で、新規入院患者が増えないことから、平成31年2月に40床へ集約を行っています。

外来については、地域住民の高齢化による介護施設入所等から、特に内科の外来患者数が減少し、目標値を下回りました。

今年度においては、令和3年度の新病院開院に併せて設置予定の地域包括ケア病床を前倒しできるよう準備し、併せて人員の適正配置などを実施しながら、目標達成に努めます。

(4) 岩出山分院

ア 達成状況（指標8項目中達成7項目 達成率87.5%）

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	75.6%	82.5%	6.9%	達成	109.0%
②一日平均患者数（入院）	30.2人	32.9人	2.7人	達成	108.9%
③平均診療単価（入院）	23,616円	23,951円	335円	達成	101.4%
④一日平均患者数（外来）	124.8人	126.1人	1.3人	達成	101.3%
⑤平均診療単価（外来）	5,769円	5,591円	△178円	未達成	99.2%
⑥経常収支比率	93.4%	93.6%	0.2%	達成	100.2%
⑦医業収支比率	67.3%	69.1%	1.8%	達成	102.7%
⑧給与費対医業収益比率	97.0%以下	95.3%	△1.7%	達成	101.8%

イ 結果（評価）

入院は、本院や他施設等との連携強化、効率的な病床運用を図り患者数の確保に努めました。また、次年度に設置する地域包括ケア病床の開設に向け、新

たな施設基準を取得するなど、安定的に収益を確保し、目標を達成することができました。

外来は、かかりつけ医としての役割を果たすため、本院等の応援により診療体制の安定化を図りました。地域人口の減少に比例して患者数も減少している状況となっておりますが、平成30年度は、精神科外来（認知症疾患等）や近隣の開業医の閉院により内科外来の患者が増加し、目標を達成することができました。

経営面では、リハビリテーション施設整備に伴う、材料費等の費用が増加したものの、入院収益が増収した結果、医業収支や経常収支が改善されました。

（５） 鹿島台分院

ア 達成状況（指標8項目中達成5項目 達成率62.5%）

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率	70.3%	70.2%	△ 0.1%	未達成	99.9%
②一日平均患者数（入院）	45.0人	45.0人	△ 0.0人	未達成	99.9%
③平均診療単価（入院）	20,457円	22,223円	1,766円	達成	108.6%
④一日平均患者数（外来）	156.0人	147.9人	△ 8.1人	未達成	94.8%
⑤平均診療単価（外来）	5,706円	5,885円	179円	達成	103.1%
⑥経常収支比率	90.0%	93.1%	3.1%	達成	103.4%
⑦医業収支比率	64.1%	67.0%	2.9%	達成	104.5%
⑧給与費対医業収益比率	104.5%以下	100.4%	△ 4.1%	達成	104.1%

イ 結果（評価）

入院は、7月より地域包括ケア病床を稼働し、本院からの転院等の連携を図りましたが、病床稼働率及び一日平均患者数は目標を達成することができませんでした。

外来は、診療枠等の減により一日平均患者数が減少しています。令和元年度は、昨年度設置した地域包括ケア病床の運用を検証し、地域との連携のさらなる充実を図り、入院患者の確保に努めるとともに、地域のかかりつけ医機能を十分に発揮し、患者のサービスの向上を図ります。

(6) 田尻診療所

ア 達成状況 (指標5項目中達成0項目 達成率0.0%)

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率					
②一日平均患者数 (入院)					
③平均診療単価 (入院)					
④一日平均患者数 (外来)	43.2人	41.5人	△ 1.7人	未達成	96.1%
⑤平均診療単価 (外来)	5,930円	5,753円	△ 177円	未達成	97.0%
⑥経常収支比率	94.6%	92.2%	△ 2.4%	未達成	97.5%
⑦医業収支比率	41.7%	38.0%	△ 3.7%	未達成	91.1%
⑧給与費対医業収益比率	188.2%以下	198.2%	10.0%	未達成	95.0%

イ 結果 (評価)

眼科や内科の患者数の減少により、一日平均患者数は目標を達成することができませんでした。また、初診患者数の減少等により診療単価等も目標値に達していません。また、内科の延患者数の約2割が認知症外来の患者であり、一般内科は減少となっています。地域のかかりつけ医機能を継続するためにも、引き続き本院と連携を図り、患者数の増加が必要です。

(7) 健康管理センター

ア 達成状況 (指標5項目中達成5項目 達成率100.0%)

	目標	実績	増減	達成状況	
	A	B	B-A	項目	達成率
①病床稼働率					
②一日平均患者数 (入院)					
③平均診療単価 (入院)					
④一日平均患者数 (外来)	1.5人	1.9人	0.4人	達成	126.7%
⑤平均診療単価 (外来)	10,814円	13,099円	2,285円	達成	121.1%
⑥経常収支比率	87.4%	101.7%	14.3%	達成	116.4%
⑦医業収支比率	72.6%	87.3%	14.7%	達成	120.2%
⑧給与費対医業収益比率	72.2%以下	63.6%	△ 8.6%	達成	113.5%

イ 結果 (評価)

健康診断等の受診者数は、閑散期 (1月から3月) の利用者やリピーターの確保ができたことから、前年度より1,056人増え、収益は増加しています。また、予防接種事業の開始や健康診断のオプションを追加し、収益を確保したことにより、収支比率が向上し、目標を達成することができました。今年度も引き続き予防接種種類の増加等、サービス向上に努めます。

4 収支計画の達成状況

(単位：百万円)

	病院事業			本院		
	H30 (決算見込)			H30 (決算見込)		
	目標値	実績値	増減	目標値	実績値	増減
	(A)	(B)	(B-A)	(A)	(B)	(B-A)
総収益	23,319	24,015	696	20,084	20,655	571
医業収益	20,275	20,724	449	18,099	18,675	576
入院収益	11,989	12,167	178	10,826	11,205	379
外来収益	6,501	6,585	84	5,940	6,047	107
その他医業収益	1,785	1,972	187	1,333	1,423	90
医業外収益	2,691	2,936	245	1,662	1,696	34
特別利益	353	355	2	323	284	△ 39
総費用	23,214	23,465	251	19,723	20,112	389
医業費用	22,157	22,378	221	18,764	19,107	343
給与費	11,121	10,890	△ 231	8,856	8,737	△ 119
材料費	5,761	6,207	446	5,603	6,048	445
経費	3,296	3,342	46	2,588	2,631	43
減価償却費	1,859	1,839	△ 20	1,614	1,599	△ 15
資産減耗費	24	20	△ 4	16	19	3
研究研修費	96	80	△ 16	87	73	△ 14
医業外費用	1,047	1,075	28	950	993	43
特別損失	10	12	2	9	12	3

医業収支	△ 1,882	△ 1,654	228	△ 665	△ 432	233
経常収支	△ 238	207	445	47	271	224
総収支	105	550	445	361	543	182

資本的収入	1,537	1,506	△ 31	905	938	33
企業債	851	752	△ 99	377	381	4
負担金交付金・他会計補助金	686	695	9	528	534	6
その他	0	59	59	0	23	23
資本的支出	2,438	2,305	△ 133	1,661	1,651	△ 10
建設改良費	996	864	△ 132	492	483	△ 9
企業債償還金元金	1,424	1,424	0	1,154	1,154	0
その他	18	17	△ 1	15	14	△ 1

資本的収支	△ 901	△ 799	102	△ 756	△ 713	43
-------	-------	-------	-----	-------	-------	----

他会計繰入金 (再掲)	3,195	3,456	261	2,092	2,185	93
収益的収入	2,509	2,761	252	1,564	1,651	87
資本的収入	686	695	9	528	534	6

(単位：百万円)

	鳴子温泉分院			岩出山分院		
	H30 (決算見込)			H30 (決算見込)		
	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	1,162	1,156	△ 6	723	739	16
医業収益	758	534	△ 224	496	523	27
入院収益	582	320	△ 262	261	289	28
外来収益	112	103	△ 9	175	172	△ 3
その他医業収益	64	111	47	60	62	2
医業外収益	397	615	218	213	203	△ 10
特別利益	7	7	0	14	13	△ 1
総費用	1,241	1,088	△ 153	759	775	16
医業費用	1,203	1,059	△ 144	737	756	19
給与費	838	701	△ 137	481	498	17
材料費	41	45	4	49	47	△ 2
経費	263	257	△ 6	135	141	6
減価償却費	56	54	△ 2	68	67	△ 1
資産減耗費	2	0	△ 2	2	1	△ 1
研究研修費	3	2	△ 1	2	2	0
医業外費用	37	29	△ 8	22	19	△ 3
特別損失	1	0	△ 1	0	0	0

医業収支	△ 445	△ 525	△ 80	△ 241	△ 233	8
経常収支	△ 85	61	146	△ 50	△ 49	1
総収支	△ 79	68	147	△ 36	△ 36	0

資本的収入	156	124	△ 32	262	267	5
企業債	85	50	△ 35	230	200	△ 30
負担金交付金・他会計補助金	71	73	2	32	33	1
その他	0	1	1	0	34	34
資本的支出	199	162	△ 37	306	266	△ 40
建設改良費	85	48	△ 37	257	217	△ 40
企業債償還金元金	113	113	0	48	48	0
その他	1	1	0	1	1	0

資本的収支	△ 43	△ 38	5	△ 44	1	45
-------	------	------	---	------	---	----

他会計繰入金 (再掲)	465	645	180	217	205	△ 12
収益的収入	394	572	178	185	172	△ 13
資本的収入	71	73	2	32	33	1

(単位：百万円)

	鹿島台分院			田尻診療所		
	H30(決算見込)			H30(決算見込)		
	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	904	926	22	158	156	△2
医業収益	624	647	23	68	63	△5
入院収益	320	353	33	0	0	0
外来収益	216	208	△8	54	49	△5
その他医業収益	88	86	△2	14	14	0
医業外収益	276	275	△1	89	92	3
特別利益	4	4	0	1	1	0
総費用	1,000	991	△9	166	168	2
医業費用	973	967	△6	163	166	3
給与費	652	650	△2	128	125	△3
材料費	54	54	0	3	3	0
経費	180	181	1	29	34	5
減価償却費	82	81	△1	3	3	0
資産減耗費	2	0	△2	0	0	0
研究研修費	3	1	△2	0	1	1
医業外費用	27	24	△3	3	2	△1
特別損失	0	0	0	0	0	0

医業収支	△349	△320	29	△95	△103	△8
経常収支	△100	△69	31	△9	△13	△4
総収支	△96	△65	31	△8	△12	△4

資本的収入	79	61	△18	13	3	△10
企業債	57	38	△19	11	1	△10
負担金交付金・他会計補助金	22	22	0	2	2	0
その他	0	1	1	0	0	0
資本的支出	102	81	△21	15	5	△10
建設改良費	59	38	△21	11	1	△10
企業債償還金元金	42	42	0	4	4	0
その他	1	1	0	0	0	0

資本的収支	△23	△20	3	△2	△2	0
-------	-----	-----	---	----	----	---

他会計繰入金(再掲)	294	290	△4	83	86	3
収益的収入	272	268	△4	81	84	3
資本的収入	22	22	0	2	2	0

(単位：百万円)

	健康管理センター		
	H30 (決算見込)		
	目標値 (A)	実績値 (B)	増減 (B-A)
総収益	288	383	95
医業収益	230	282	52
入院収益	0	0	0
外来収益	4	6	2
その他医業収益	226	276	50
医業外収益	54	55	1
特別利益	4	46	42
総費用	325	331	6
医業費用	317	323	6
給与費	166	179	13
材料費	11	10	△1
経費	101	98	△3
減価償却費	36	35	△1
資産減耗費	2	0	△2
研究研修費	1	1	0
医業外費用	8	8	0
特別損失	0	0	0

医業収支	△87	△41	46
経常収支	△41	6	47
総収支	△37	52	89

資本的収入	122	113	△9
企業債	91	82	△9
負担金交付金・他会計補助金	31	31	0
その他	0	0	0
資本的支出	155	140	△15
建設改良費	92	77	△15
企業債償還金元金	63	63	0
その他	0	0	0

資本的収支	△33	△27	6
-------	-----	-----	---

他会計繰入金 (再掲)	44	45	1
収益的収入	13	14	1
資本的収入	31	31	0

5 地域医療構想を踏まえた病床適正化に向けた再編の進捗状況について

(1) 病床の再編計画について（新大崎市民病院改革プラン P25）

項目	計画			
	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度	2021年度
本院	500床	⇒	⇒	⇒
鳴子温泉分院	80床 一般病床40床 療養病床40床 新病院建設 基本計画等策定・ 基本設計	⇒ 新病院建設 実施設計・建設工 事	⇒ 新病院建設 建設工事	40床 一般病床40床 (うち地域包括ケ ア病床10床設置) 新病院供用開始
岩出山分院	40床 一般病床40床 リハビリテーショ ン訓練室建設工事	40床 一般病床40床 (うち地域包括ケ ア病床10床設置) リハビリテーショ ン訓練室供用開始	⇒	30床 一般病床30床 (うち地域包括ケ ア病床10床運用)
鹿島台分院	58床 一般病床40床 (うち地域包括ケ ア病床10床設置) 療養病床18床	⇒	⇒	⇒

(2) 進捗状況について

ア 鳴子温泉分院

(ア) 新病院建設の進捗

計画・設計等に市民の声を反映させるため、鳴子温泉地域住民とのワークショップを3回開催し、平成30年9月に基本計画、平成31年3月に基本設計を策定しました。現在は、実施設計を行っています。

(イ) 病床の再編

平成30年10月に新大崎市民病院改革プランに基づき、病床数を130床から80床へ再編しました。しかし、現在は、当初の計画より入院患者が少ないため、平成31年2月より病棟を集約しました。今年度においては、令和3年度の新病院地域包括ケア病床の設置を前倒しして実施できるように準備を進めていきます。

イ 岩出山分院

(ア) リハビリテーション訓練室整備の進捗

平成31年3月にリハビリテーション訓練室が完成し、令和元年5月より入院患者へのリハビリテーションの提供を開始しました。また現在は、

1 1月の地域包括ケア病床設置に向けて、運用手順作成や地域の介護事業との連携手順の準備を進めています。

ウ 鹿島台分院について

(ア) 地域包括ケア病床設置

平成30年7月より地域包括ケア病床10床を整備し、運用を開始しました。地域包括ケア病床の稼働率が高いことから、増床を検討しています。また、令和元年7月より、在宅からの患者の受入れ体制が整ったことより、地域包括ケア病床の施設基準「地域包括ケア入院医療管理料1」を取得しました。